

AOSSG 活動報告

せきぐち ともかず
ASBJ 常勤委員 関口 智和

1. はじめに

アジア・オセアニア地域の会計基準設定主体においては、2009年11月にアジア・オセアニア会計基準設定主体グループ(AOSSG)が組成されており、企業会計基準委員会(ASBJ)も2010年9月から2011年11月まで第2代目議長を務める等、その活動に積極的に参画している。2013年11月に開催された第5回年次総会より、香港(HKICPA¹)が議長、韓国(KASB)が副議長(任期:2年間)となって活動を行っているが、本稿では、主に2014年8月から10月における活動について、概要をご紹介します。

2. ASAF 会議への対応

IFRS財団が国際会計基準審議会(IASB)の諮問機関として設置した会計基準アドバイザー

リー・フォーラム(ASAF)会議には、アジア・オセアニア地域から、ASBJ、中国、オーストラリアに加えて、AOSSGから代表者(AOSSG議長)が出席している。このため、AOSSGでは、代表者がAOSSGメンバーの見解を適切に発言できるようにするために、ASAFワーキング・パーティー²を組成した上で、事前に意見集約を行うとともに、事後的にもAOSSGメンバーに対するフィードバックを行っている。

2014年9月25日から26日にかけて開催されたASAF会議では、リース、IFRS第3号「企業結合」の適用後レビュー、概念フレームワーク、開示に関する取組み(開示原則、IAS第1号「財務諸表の表示」の改訂、重要性)、保険契約、リサーチ・プロジェクト(負債と資本、割引率)が議題となっていたことから、関連する各WGリーダー³が中心となってWGメンバーの意見を集約し、AOSSG代表者へのインプットを行った。ASBJも、概念フレームワークWGと取得及び報告企業問題WGのリー

1 本稿において、会計基準設定主体の表記は、ASBJ(当委員会)を除き、「国若しくは地域名(会計基準設定主体の略称)」によって記載するか、又は、国若しくは地域名のみを記載している。

2 ASAFワーキング・パーティーは、香港(リーダー)、日本、オーストラリア、中国、インド、インドネシア、イラク、韓国、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、シンガポールより構成。

3 概念フレームワークWG、財務諸表表示WG、保険契約WG、金融商品WG、取得及び報告企業問題WGがそれぞれのWGメンバーの意見集約を行った。

ダーとして、電子メールや電話会議を通じて意見集約を行った。

3. AOSSG 中間会議の開催

2014年9月下旬から10月初旬にかけて、ASAF会議や世界会計基準設定主体(WSS)会議、会計基準設定主体国際フォーラム(IF-ASS)会議がロンドンで開催されたことに合わせ、9月28日にAOSSG中間会議がIASBの会議室にて開催された。同会議では、AOSSGメンバー(12か国⁴)から約30名程度が参加し、概念フレームワーク、保険契約、金融商品(動的风险管理に関する会計)に関するプロジェクトのほか、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用に関する論点等について議論が行われた。IASBからは、Zhang Wei-Guo 理事、鶯地 理事、Chungwoo Suh 理事、Sue Lloyd 理事、Henry Rees テクニカル・ディレクター他が出席したほか、ASBJからは、小野委員長、小賀坂副委員長、関口常勤委員が参加した。ASBJからは、WGの議長役を務めている概念フレームワークと収益認識について、WGメンバーからの見解を取りまとめ発表を行ったほか、国内における各プロジェクトに関する審議動向を踏まえ、適宜、意見発信を行っている。

4 会議に参加したAOSSGメンバーは、香港(議長)、韓国(副議長)、日本、オーストラリア、インド、インドネシア、イラク、マレーシア、ニュージーランド、パキスタン、シンガポール、シリアの会計基準設定主体であった。